



山 林

津市は全国トップクラスの速さで森林経営管理制度の取り組みを進め、令和元年度の芸濃地域を皮切りに実施してきた経営管理意向調査は、令和5年度に全地域に至ります。**森林の現況調査**および**所有権の明確化、間伐の実施**などをさらに進めるとともに、津市産の木材を主要部材に使用して新たに建築する木造住宅に対する支援等を行う**木材利用促進事業**もより一層推進してまいります。



産 業 用 地

中勢北部サイエンスシティ、ニューファクトリーひさいにおける企業誘致が完了し、現在は民間の遊休地への誘致を図っていますが、人口減少対策における**社会増**に向けては、**雇用の場を確保**することが最も重要です。新型コロナウイルス感染症の拡大により一時的に産業用地の需要は減少したものの、現在は投資意欲のある企業や工場等の建て替え・増設を計画している企業からの問い合わせが増加傾向にあります。この流れを掴みニーズに応えるべく、柔軟かつ迅速に対応できる用地開発のノウハウや資金力等を持つ**民間事業者が主体となった産業用地の整備**を進めてまいります。

夢を「かたち」に 4期目の市政に臨む責務

3つのビジョンの達成は容易なことではありません。その道筋が明確に示されているものでもありません。しかし、**夢で終わらせることなく「かたち」にしていくこと**、それが4期目の市政に臨む私の責務であります。

もとより津市政として取り組むべきフィールドはこのビジョンに留まるものではありません。消防・防災、健康・福祉、スポーツ・文化、市民活動・経済活動、地域脱炭素、DXの促進など、市民の暮らしを豊かにする、地域経済を支え発展させる施策・事業にも積極的に取り組んでまいります。

「選ばれるまち・津市」 の実現に向けて

政策を立案する過程においては、市民の皆さまからの声を幅広く伺い、市役所と**相互に作用し合うパートナーシップ**を築き上げてまいります。3つのビジョンの実現に向けては、さまざまな市民の思いがあります。これらの思いを柔軟に受け止めるとともに、積極的な参画をいただきながら政策立案を行う**開かれた市政**を展開してまいります。

そして、職員とは、何を目的・ターゲットにすべきか、プライオリティをどこに置くべきかを一緒に考えて、進むべき方向性を共有し、共に望ましい道筋を明らかにしてまいります。折しも今年度から定年が段階的に引き上げられることを受け、職員定数を2,500人から2,750人に拡充しました。この拡充した定数を最大限に生かし、喫緊の課題に対処する部局や新しい業務を担う部局に配置するなど、職員が心身ともに健康で与えられた職務を遂行できる職場づくりを進め、**総力を挙げて市民のために動ける組織**を築いてまいります。

未知なる新しい時代において求められるのはクリエイティブ、創造していく力です。その過程においては、市民や企業の皆さまと行政とが**きめ細かく連携し織りなす取り組み**にこそ活路があるものと考えます。

漫然とこれまでの市政の継続に安住せず、逃げず、怯まず、足を止めることなく、必ずやビジョンを実現させる覚悟をもって、「**選ばれるまち・津市**」の実現に向け取り組んでまいります。